

各 位

上場会社名	いであ株式会社
代表者	代表取締役会長 田畑 日出男
(コード番号)	9768)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 斎藤 博幸
(TEL)	03-4544-7600)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成23年12月期において見込まれる、繰延税金資産の取崩しについて、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,700	320	320	120	16.81
今回修正予想(B)	13,000	△500	△510	△1,830	△256.30
増減額(B-A)	△700	△820	△830	△1,950	
増減率(%)	△5.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	15,537	604	578	412	57.83

平成23年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	300	300	100	14.00
今回修正予想(B)	12,000	△500	△495	△1,850	△259.10
増減額(B-A)	△1,000	△800	△795	△1,950	
増減率(%)	△7.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	14,775	558	554	400	56.14

修正の理由

1. 通期連結業績予想

売上高につきましては、当社グループを取り巻く厳しい経営環境が続くなか、前回予想に比べ7億円下回る見込みであります。利益面につきましては、工程管理の徹底、作業効率の向上による人件費の圧縮や外注費の削減に努めましたが、受注単価の下落等による変動費低減の未達等により、販売管理費等の固定経費の削減効果を上回る原価高となり、前回予想に比べて営業損益で8億2千万円、経常損益で8億3千万円下回る見込みであります。また、後述の繰延税金資産の取崩しにより、当期純損益については、前回発表を19億5千万円下回る当期純損失18億3千万円となる見込みであります。

2. 通期個別業績予想

個別業績の修正理由につきましても、連結業績と同様であります。

売上高につきましては、当社グループを取り巻く厳しい経営環境が続くなか、前回予想に比べ10億円下回る見込みであります。利益面につきましては、工程管理の徹底、作業効率の向上による人件費の圧縮や外注費の削減に努めましたが、受注単価の下落等による変動費低減の未達等により、販売管理費等の固定経費の削減効果を上回る原価高となり、前回予想に比べて営業損益で8億円、経常損益で7億9千5百万円下回る見込みであります。また、後述の繰延税金資産の取崩しにより、当期純損益については、前回発表を19億5千万円下回る当期純損失18億5千万円となる見込みであります。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

繰延税金資産の回収可能性について、最近の厳しい受注環境を考慮し、当社の今後の業績動向を慎重に検討した結果、繰延税金資産の約11億円を取崩す見込となり、これにより平成23年12月期に法人税等調整額を約11億円計上する見込となります。

(注)上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき算定していますが、多分に不確実な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績等は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上